

2月26日(日)

毎月最終日曜日・西田鮮魚店のみ
なみか・ほろかポイント10倍



三次アグリロアールラボの藤谷さん



1パック

チャーシューと雪下ネギ

1,000円

(税込)

西田鮮魚店

ジョイフル

72-5246

御用聞き便専用番号 ☎090-7125-5489 (旧庄原市内はご自宅に配達)

御用聞き便ポイントカード 火・水曜日ポイント2倍



茨城県の(株)雪村の大川部長

節分も終わり、どてなくホツとっていたら、私の携帯が鳴り響く。気のせいかな？大きく響くと感じるのは自分だけか？着信を見ると、会長が出てくるん？何？何かを察したのでしょうか？笑。すぐに電話に出ると、「だいたい一言だけ「ちよと来てくれるか？」と...そしてジョイフル3階の会長室に行く」と、「こないだの雪村のチャーシュー食べたろ。ちよと行って来てくれ」とだけ笑。どてなですか？と聞くと笑顔で「茨城県土浦市。霞ヶ浦の近く。上西さんと、日帰りで行って来てくれ！」と、えんげんげんになりましたが、最近は何事も楽しもう、良い経験が出来る！って思うようになりました笑！

という事で弾丸で茨城県土浦市に行ってきた！

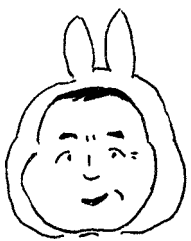
雪村さんは32店舗中華料理やラーメン店を運営されている、茨城では知らない人は少ない有名な会社で、この雪村のチャーシュー、試食したんですがほんと美味しいです！自分達は色々な厚さに切って食べましたが、1番美味しいと感じたのは、薄くスライスし白髪ネギを巻いて、さっぱりタレと辛味があるソーシヤンを付けたらもう最高！ご飯にも合うし、酒のあても合うし、言うてなし！

白葱も市場で買えば早いです、美味しいネギを、と考えた時に頭に浮かぶのは、三次アグリロアールラボ、ネギ農家の藤谷さん。彼に連絡を入れるとすくOK！私のイメージ通りになっていく！という事で今回は「雪村×アグリロアールラボ×西田鮮魚店」中華料理店とねぎ農家と魚屋の広告となります!!

魚屋の要素はどてなう、薄造りにチャーシューをのせているとこです！是非この組み合わせで食べてみて下さい！旨い！ってなりませよ！

西田鮮魚店 店長 祐宗 優司

『雪村のチャーシュー× 三次アグリロアーラボのねぎ』さちの空手』



鮮コーポレーション(株) 代表取締役会長 西田 昌史

旧庄原市の7つの中学校が統合される前の庄原中学校、今の庄原小学校の所に建てられていた庄原中学校、その中学校にあった『百葉箱』の位置はどこだった？という前回の問いかけ、覚えていたでしょうか？

手紙が新聞に折り込まれたその朝に、私の携帯にショートメールが入っていました。

『西田昌史さんの携帯でしょうか？まちがっていたらごめんさい。丸田と申します。中学校のジオラマ作成で百葉箱の位置。写真がありましたのでジョイフルへFaxしようと思いましたがいかがですか？』

丸田さん？私知っています、あの丸田さんなら「丸田と申します」なんて書くわけないし…。

翌、月曜日、ジョイフルに行くつもりでしたが。あの丸田さんでした。高町のあの。電話してお礼を言いました。あらためて、もう一度。ありがとうございます。

その後、ジョイフルで定例の会議をしていると、私を訪ねて来られた方が。出てみると、たぶん私より少し年上だろうという男性。お会いしたことがあるような無いような。マスク越しで定かではありません。

挨拶もそこに、手に持っていたら3枚の写真が渡され、庄原中学校の百葉箱の写真です、と。卒業アルバム校舎の写真でした。で、ご自身は庄原中学校の出身ではないと話され、昭和37年の卒業アルバムだということでした。私が昭和43年の卒業だから、6年先輩ということか。ご本人でないということは、奥様が卒業生なんだろうか。会議中もあり、ゆつくりお話をうかがうことができますませんでした。お帰りの際に名前だけはお聞きすることができました。歩きながら「奥田です」とだけ応えていただけました。

丸田さん、奥田さんありがとうございます。助かりました。より正確なジオラマを作っていただけだと思います。



昭和37年 百葉箱はここでした

さて、今日の表面は『雪村のチャーシュー』になっているはずですが、このチャーシューを訪ねて茨城県の土浦まで祐宗店長と上西さんが2人で行ってきました。魚市場が休場の2月15日(水)。日帰りです。

土浦の『雪村』でチャーシューを食べてとんぼ帰り。ほんとなら工場を見学し、うまさの秘訣をじっくり聞いて帰ってほしかったのですが、突然、行ってきてくれと言った私の配慮不足でした。それでも、現地に飛び、実際に、お店でチャーシューを味わってきたことは良かったと思います。なにごと現場主義です。

茨城弾丸ツアーから一日おいた17日。祐宗店長、今度は北海道帯広へ。2泊3日。
小学2年生の娘のさちちゃんが帯広の『よつ葉アリーナ十勝』で開催される『第一回 全日本少年少女空手道選抜大会』に広島代表で出場するのに行きたのです。

こちらも試合前日に家を6時に出発、飛行機、高速バスを乗り継いで帯広に13時半到着。次の日にすぐ試合。その翌日の夜には家に帰りついてたか。観光どころではなかったようです。

この『全日本少年少女空手道選抜大会』は空手に励む小学生たちの全国大会。『組手』と『形』があり、さちちゃんは『組手』の団体戦の代表。チームは1年生から6年生までの、それぞれの学年代表で形成。さちちゃんは広島県代表の女子の部の2年生(次鋒)で出場。

広い体育館を8つに分けた試合会場。2階席、3階席から見下ろす人たち。黒いスーツを着た厳格そうな審判がずらり。全国から集まった小学生。気合いっぱい掛けた掛け声が響く。

祐宗さんが言いました。「よう、こんなところでやるのう、と思いました。まだ、2年生じゃけえ、緊張せんのですかね。」と。

いやいや、小さい体で精いっぱい緊張してたんでしょう。一生忘れることのない瞬間にちがいありません。もともと、こんな時は、見ている親の方が緊張するもんだとは思いますが。

祐宗さんがユーチューブで試合を見せてくれました。

相手は東海代表。赤の帯。さちちゃんは青。試合時間は1分半。一礼。始め。2人、小刻みなステップで間をはかる。8秒後、さちちゃんの左足の蹴り。入った！と思ったが、審判の旗はあがらない。一、二発、様子見の突きの応酬。両者、攻めのきつかけをつかめない。あと2秒を残して、さちちゃんが左の突き、右の突きと連打。入った？いや、旗はあがらない。終了の笛が響いた。0対0。引き分け。

チームとしても引き分けたのですが、得失点の差で敗退したそうです。

親に勇気を与えてくれる。ありがたいことです。

さあチャーシューを売ろう！



全国大会で奮闘中の祐宗さちさん

2023年2月26日